

1. 治安・社会情勢

当館管轄区域内（6州）において、特に在留邦人が多く居住するボストン市、ブルックライン町及びケンブリッジ市における犯罪認知件数は以下のとおり。

【ボストン市における犯罪発生状況】

	殺人	強姦性交	強盗	暴行傷害	侵入盗	自動車盗	その他窃盗	総計
認知件数 (2022)	41	167	741	2,488	1,153	1,313	8,960	14,863
認知件数 (2021)	40	225	758	2,382	1,260	1,257	9,165	15,087
	+2.5%	-25.8%	-2.2%	+4.5%	-8.5%	+4.5%	-2.7%	-1.5%

- ボストン市警発表の2022年犯罪統計によると、これら主要犯罪の総数は前年の15,087件から14,863件に224件減少（-1.5%）。強姦性交の発生件数が25%以上減少している一方、殺人及び自動車盗が増加している。

また、2022年中のボストン市内における銃器使用事件は、146件死傷者数181人であり、前年に比べ12.6%減少した。

- ボストン市南部のロクスベリー(Roxbury)、マタパン(Mattapan)、サウスボストン(South Boston)、ドーチェスター(Dorchester)及びサウスエンド(South End)地区では、かねてから凶悪事件が多く発生する傾向にあるといわれており、2022年においてもボストン市内発生殺人事件41件のうち36件(87.8%)が、これらの地区で発生している。

【ブルックライン町における犯罪発生状況】

	殺人	強姦性交	強盗	暴行傷害	侵入盗	自動車盗	その他窃盗	総計
認知件数 (2022)	0	3	10	128	47	28	586	802
認知件数 (2021)	0	2	12	89	54	22	468	647
	0%	+50%	-17%	+44%	-13%	+27%	+25%	+24%

○ ブルック町警察が発表した2022年の犯罪統計によると、これら主要犯罪の総数は、前年の647件から802件に増加（+24%）。特に暴行傷害の発生件数の増加が顕著である。

【ケンブリッジ市における犯罪発生状況】

	殺人	強姦性交	強盗	暴行傷害	侵入盗	自動車盗	その他窃盗	総計
認知件数 (2021)	1	36	68	209	197	129	1,958	2,598
認知件数 (2020)	1	27	67	191	186	84	1,884	2,440
	0%	+33%	+1%	+9%	+6%	+54%	+4%	+6%

※ 2022年統計未発表につき、2020年～2021年統計を参考掲載

○ ケンブリッジ市警発表2021年の犯罪統計によると、これら主要犯罪の総数は、2,440件から2,598件に増加（+6%）。全体的に増加傾向の中、強姦性交（+33%）及び自動車盗（+54%）の増加が顕著である。

2. テロ・爆弾事件発生状況

当該情報に接していない。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当該情報に接していない。

4. 対日感情

良好である。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

当該情報に接していない。